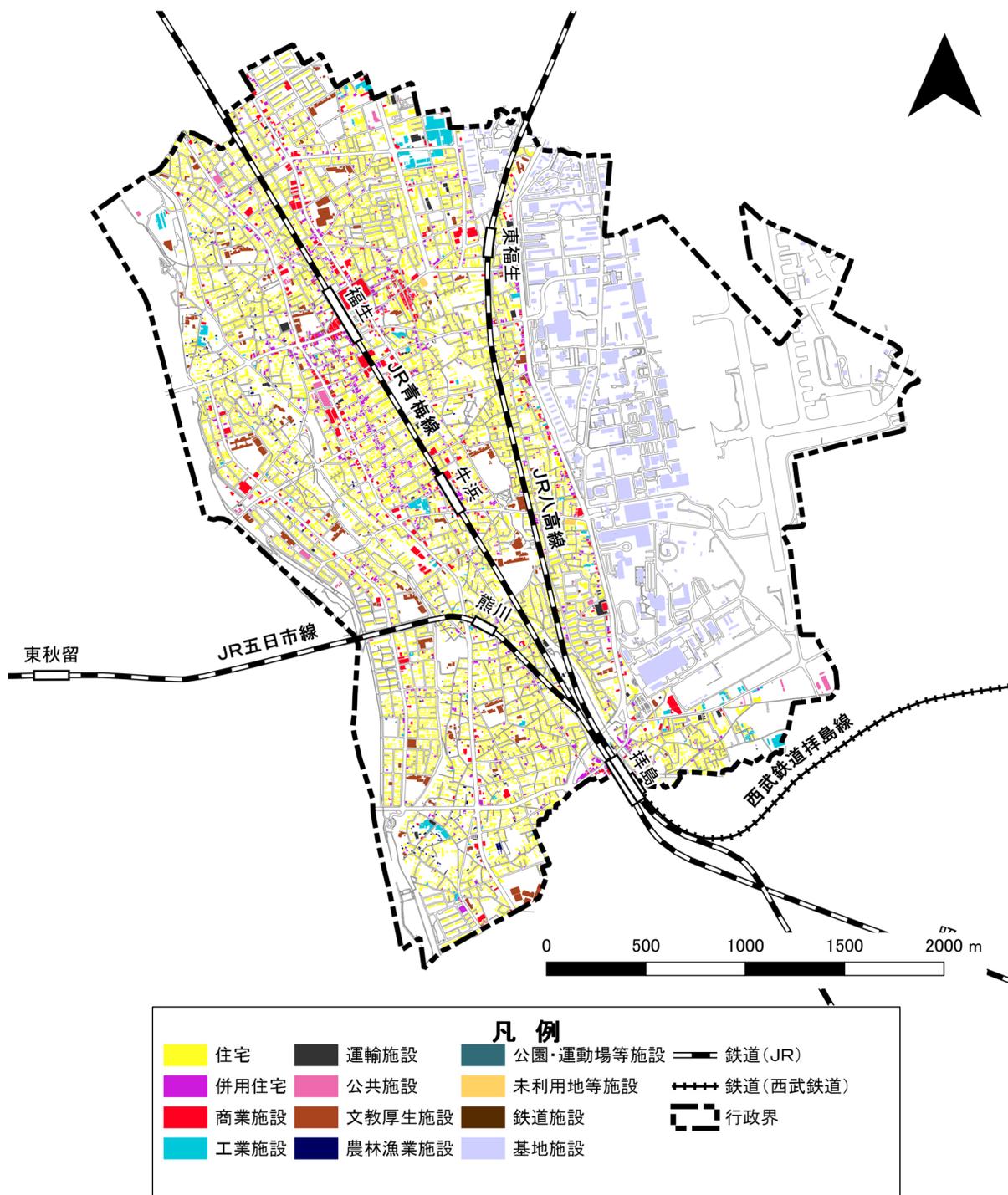


イ 建物利用現況

【大半が戸建住宅で形成された市街地】

- ◆本市の建物利用現況は、土地利用現況と同様に、住宅系の建築物が大半を占めています。
- ◆商業系の建築物については、駅周辺や新奥多摩街道沿いを中心に立地しています。
- ◆また、市街地における火災の危険を防ぐため、市街地のほとんどが防火地域及び準防火地域に指定(令和3年7月1日告示:防火地域 21.9ha、準防火地域 633.7ha、指定なし 7.7ha)されており、防火造を除く木造建物については、分布は少ない状況です。



出典：平成 29 年度多摩部土地利用現況調査（東京都）

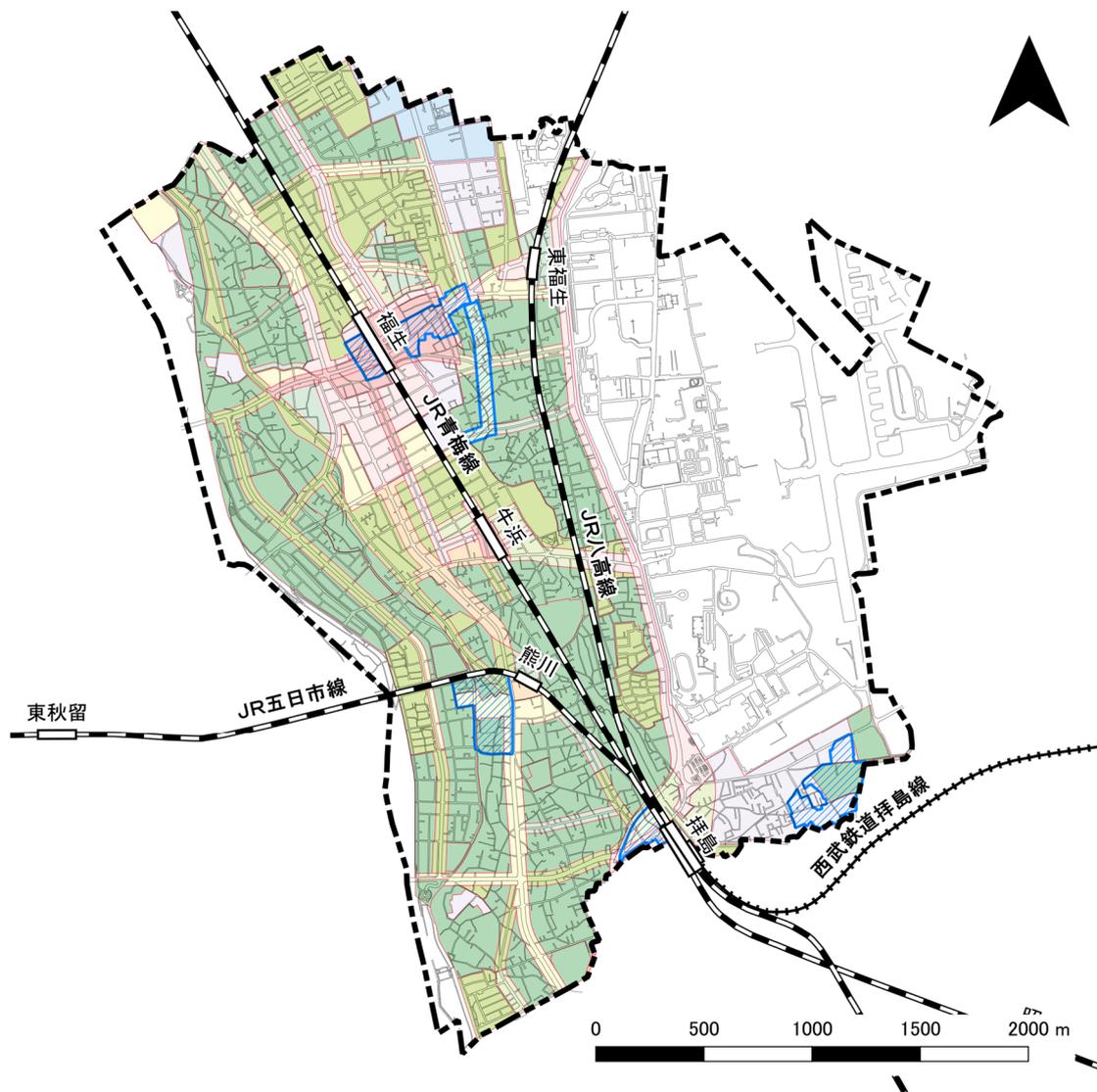
図 19 建物利用現況図



ウ 地域地区などの法規制状況

【住宅及び商業の利用を主とした用途地域などの指定】

- ◆本市の用途地域は、13種類の用途地域のうち11種類が指定されており、住居系用途地域を主とするなかで、駅周辺及び幹線道路沿道などにおいて商業系の用途地域が指定されています。
- ◆地区計画は、6地区で指定されており、それぞれの地区の特性に相応しいまちなみの誘導を図っています。



凡例			
第一種低層住居専用地域	第一種住居地域	商業地域	鉄道(JR)
第二種低層住居専用地域	第二種住居地域	準工業地域	鉄道(西武鉄道)
第一種中高層住居専用地域	準住居地域	工業地域	行政界
第二種中高層住居専用地域	近隣商業地域	地区計画	

出典：都市計画地理情報システム

図20 用途地域、地区計画図



(5) 都市基盤の整備状況

ア 都市計画道路

【道路網の確立や活性化に寄与する都市計画道路の整備】

- ◆市内の都市計画道路については、15本の路線が指定されています。
- ◆現時点の整備率は約80%であり、市北部や西部では完成した区間が多い一方で、JR青梅線以東の駅周辺部などにおいて、未整備の区間が残されている状況です。このうち、福生駅東口から延びる都市計画道路3・4・7号富士見通り線(富士見通り)の第2工区(産業道路から国道16号までの区間)及び都市計画道路3・3・3の1号新五日市街道線(五日市街道)については、「東京都第四次事業化計画」の優先整備路線に位置付けられています。

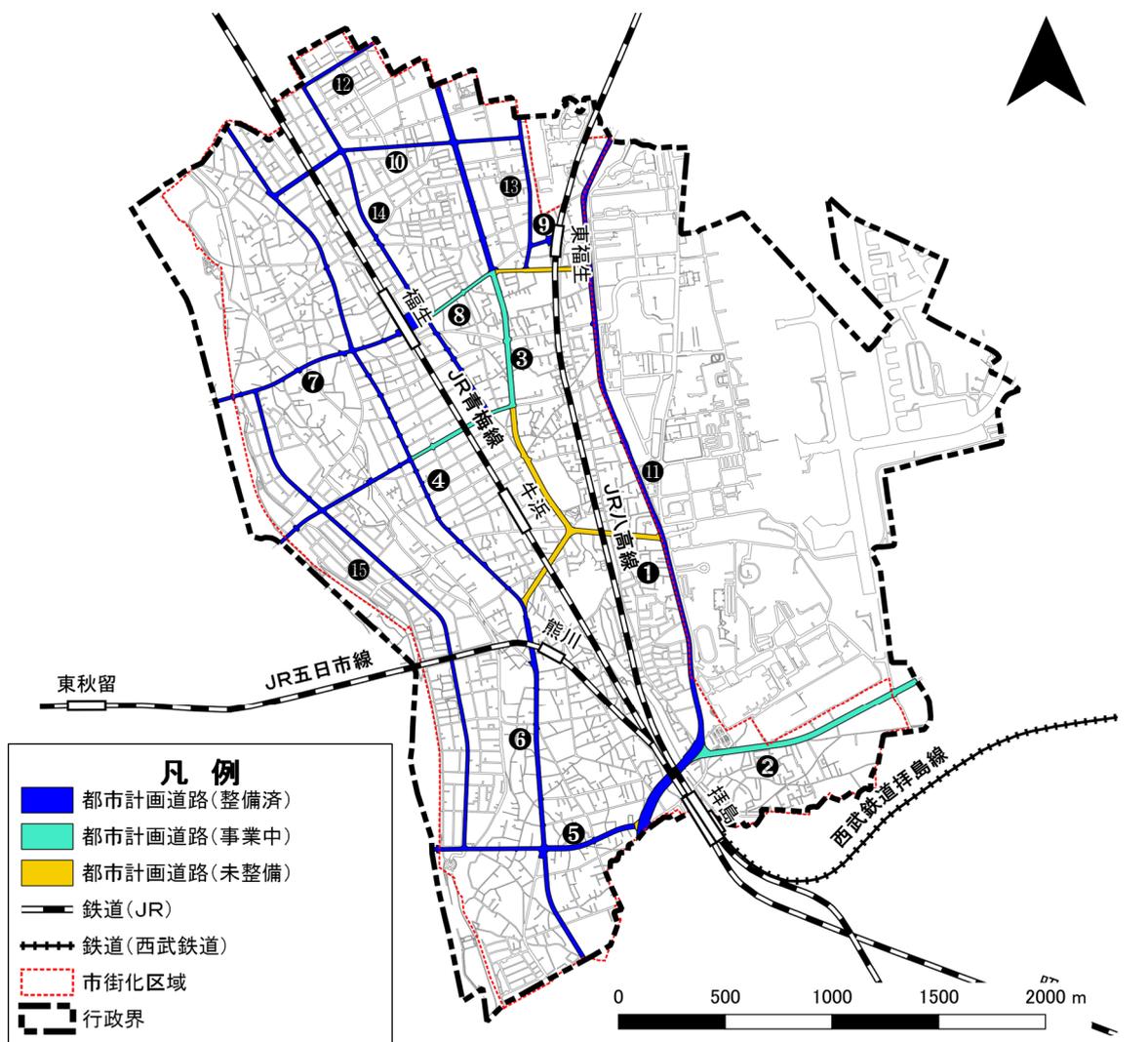


図 21 都市計画道路図

出典：都市計画地理情報システム

表 3 都市計画道路の名称

番号	路線名	番号	路線名	番号	路線名
①	都市計画道路3・3・1号牛浜線	⑥	都市計画道路3・4・5号新奥多摩街道線(新奥多摩街道)	⑪	都市計画道路3・4・10号東京環状線(国道16号)
②	都市計画道路3・3・3の1号新五日市街道線(五日市街道)	⑦	都市計画道路3・4・6号中央通り線(中央通り)	⑫	都市計画道路3・4・11号境通り線
③	都市計画道路3・3・30号武蔵野工業線(産業道路)	⑧	都市計画道路3・4・7号富士見通り線(富士見通り)	⑬	都市計画道路3・4・28号江戸街道線
④	都市計画道路3・4・2号志茂中央線(多摩橋通り)	⑨	都市計画道路3・4・8号東福生駅線	⑭	都市計画道路3・4・31号福羽街道線(やなぎ通り)
⑤	都市計画道路3・4・3の2号新五日市街道線(陸橋通り)	⑩	都市計画道路3・4・9号加美桜通り線	⑮	都市計画道路3・4・32号多摩河原線(田園通り)

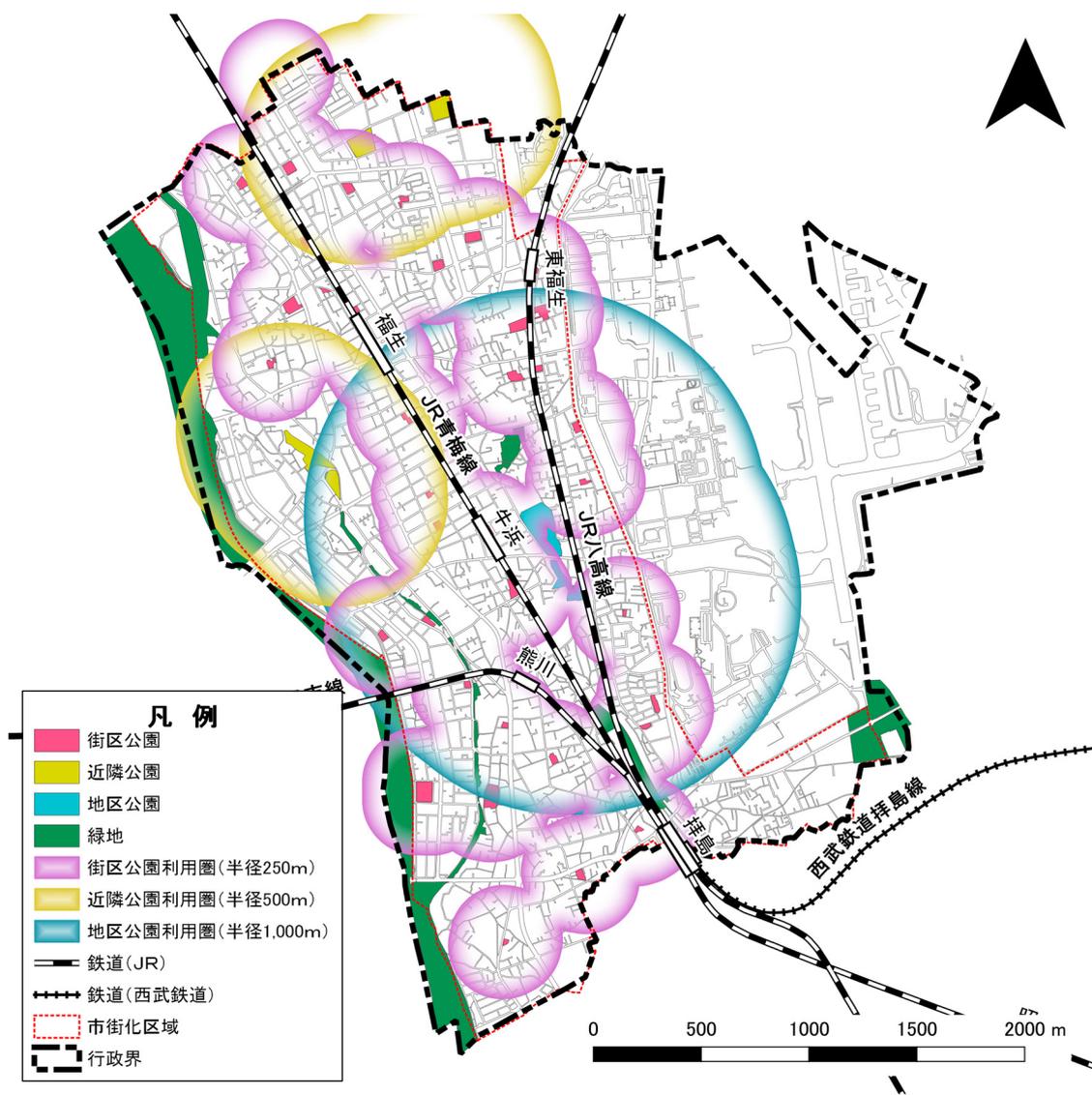
※②・⑧については東京都第四次事業化計画における優先整備路線



イ 公園・緑地

【市内に分散して配置されている公園・緑地】

- ◆公園・緑地については、市内に分散して配置されており、市域のおおむねの範囲が、公園の利用圏内に含まれており、公園・緑地を利用しやすい環境が整っています。



※利用圏については、H14年以前に都市計画法に掲載されていた誘致距離を参考に設定。

出典：都市計画地理情報システム

図22 公園の分布状況

ウ 公共下水道

【汚水は整備が完了、雨水は計画的に整備を実施】

- ◆市街化区域内における公共下水道の整備状況について、汚水は整備が完了しています。
- ◆雨水については、おおむねの範囲で整備が完了しているなかで、一部のエリアで未整備となっていますが、計画的に整備が進められる予定です。

第1章

第2章

福生市の現況とまちづくりの課題

第3章

第4章

第5章

第6章

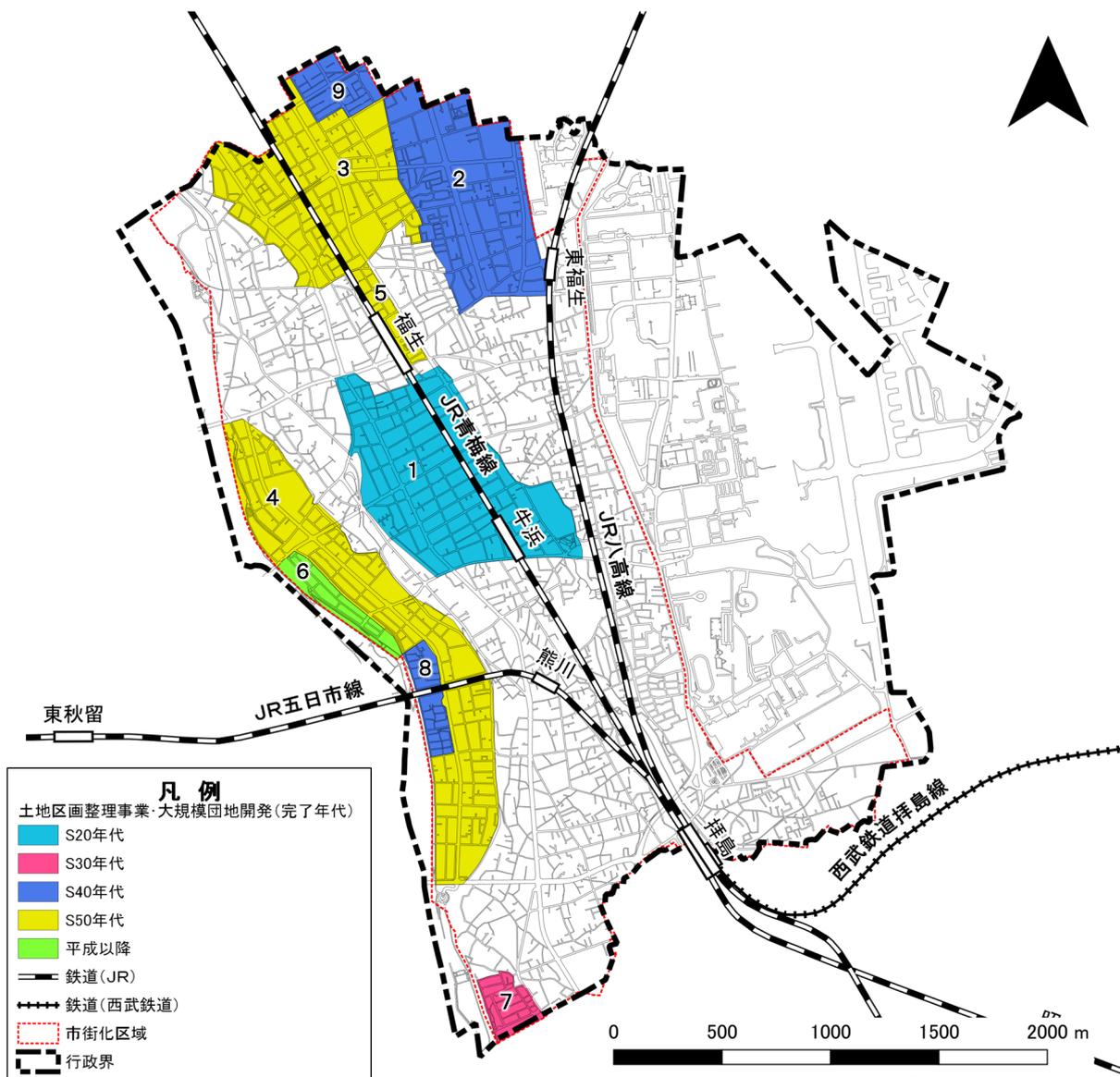
資料編



エ 市街地開発事業など

【計画的な事業の推進による良好な市街地の形成】

- ◆市街化区域内の約38%が土地区画整理事業や大規模団地開発により整備され、良好な居住環境が形成されています。
- ◆また、現在は、福生駅西口周辺において、市街地再開発事業が都市計画決定されており、本市の玄関口としてさらなる拠点性の向上が期待されています。



出典：福生市都市計画図

図23 土地区画整理事業などの実施状況

表4 土地区画整理事業施行箇所一覧

番号	地区名	施行者	事業認可	換地処分	施行面積
1	牛浜, 志茂, 本町	組合	S16.8	S24.6	58.5ha
2	武蔵野台	福生市	S39.8	S45.6	42.7ha
3	加美平	福生市	S38.10	S54.1	67.1ha
4	多摩河原	福生市	S44.9	S50.7	68.8ha
5	福生駅東口	福生市	S49.5	S59.2	4.7ha
6	田園西	福生市	H5.12	H16.3	5.8ha

表5 その他大規模団地開発一覧

番号	名称	入居開始
7	熊川住宅(東京都住宅供給公社)	S39
8	UR福生団地(UR都市機構)	S49
9	加美平住宅(東京都住宅供給公社)	S42

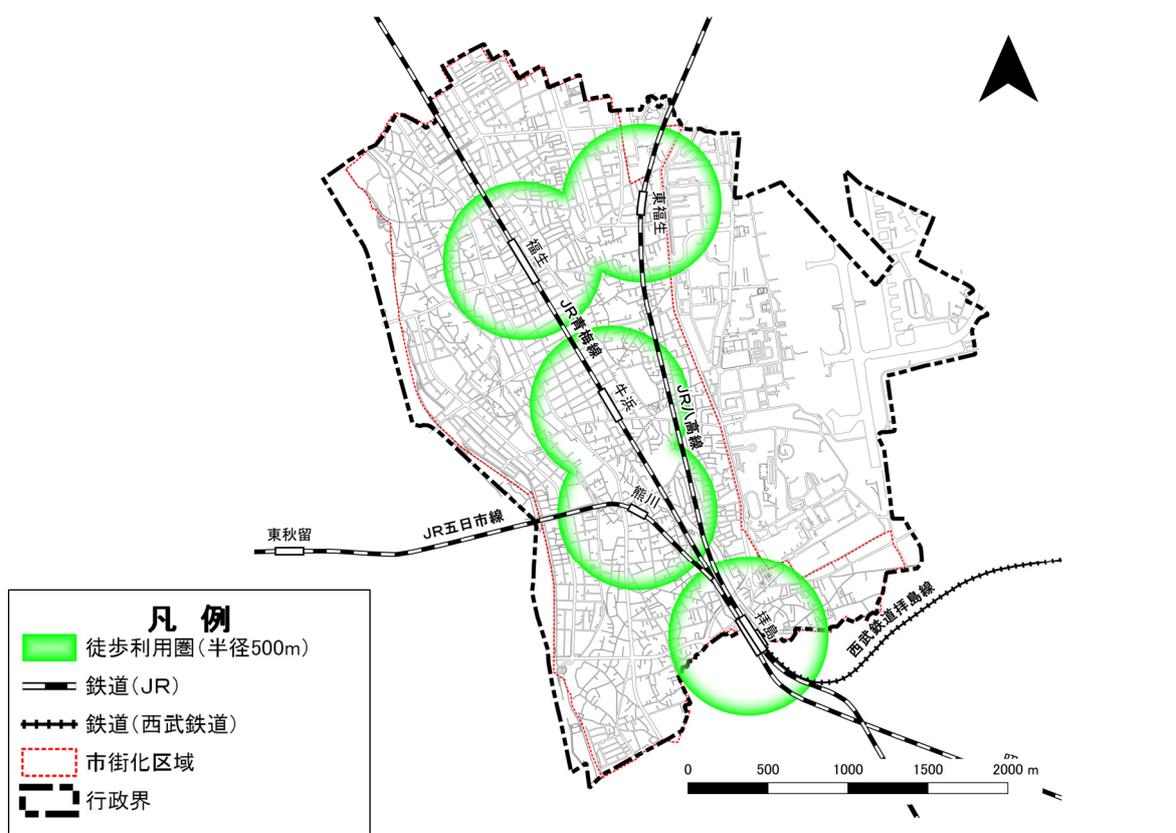


(6) 公共交通

ア 鉄道網及び駅の立地状況

【5つの駅の徒歩利用圏に含まれる市中央部】

- ◆市内では、JR青梅線・八高線が南北に通過し、拝島駅から西にJR五日市線が通過しており、5つの駅が立地しています。
- ◆各駅からの徒歩利用圏(高齢者の徒歩圏半径 500m)は市の中央部をカバーしていますが、市の北部や西部では徒歩利用圏外となっています。
- ◆福生駅の一日常乗降者数は、微増と微減を繰り返しながらほぼ横ばいで推移しています。



出典：国土数値情報（R1年）

図24 鉄道網及び駅の立地状況

表6 鉄道の一日常乗降者数

年度	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)
福生駅	32,832	33,636	33,178	33,278	32,914	32,720	32,790	32,034
牛浜駅	8,660	8,642	8,686	8,908	9,008	9,078	9,192	8,950
熊川駅	2,850	—	—	—	—	—	—	—
拝島駅	90,308	92,985	93,113	95,046	95,683	96,503	97,630	96,209

※東福生駅は無人駅のため不明。熊川駅は平成25年以降に無人駅となったため不明

出典：市勢統計及びJR東日本HP、西武鉄道HP



イ バス網及び停留所の立地状況

【民間バスとそれらを補完する福祉バスの運行】

- ◆市内には西東京バス及び立川バスが運行する路線バスが 21 系統走っており、JR青梅線以西の大部分は路線バスの徒歩利用圏(バス停留所の徒歩圏半径 300m)内に含まれます。
- ◆また、高齢者や障害者、さらには妊婦・乳幼児・未就学児などの方々が市内福祉施設などを利用する際のアクセス利便性を向上することを目的として、平成 22 年に福祉バスの本格運行が開始されており、上記の路線バスを補完する形で、現在は福生コースと熊川コースの2コースが運行されています。

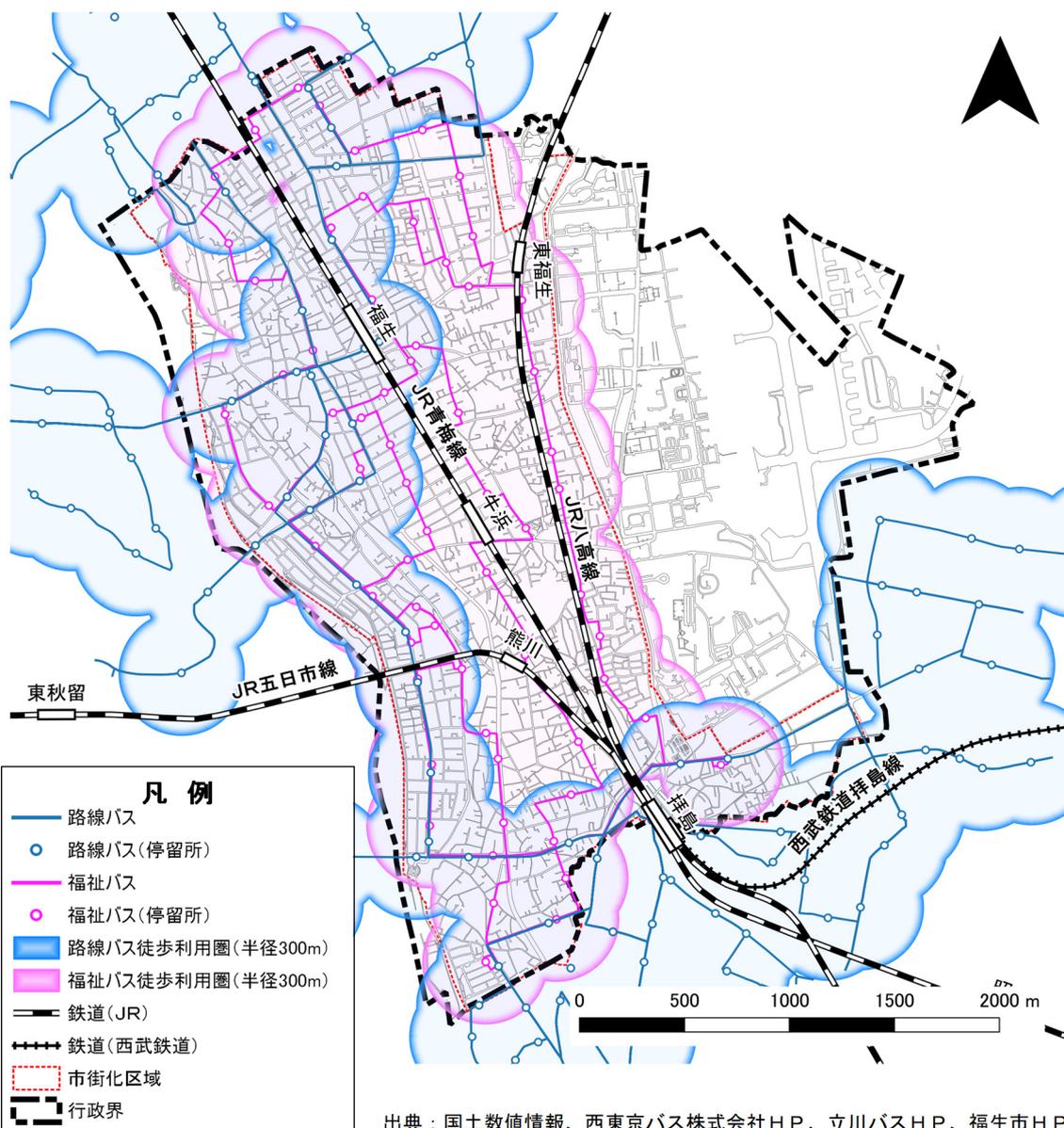


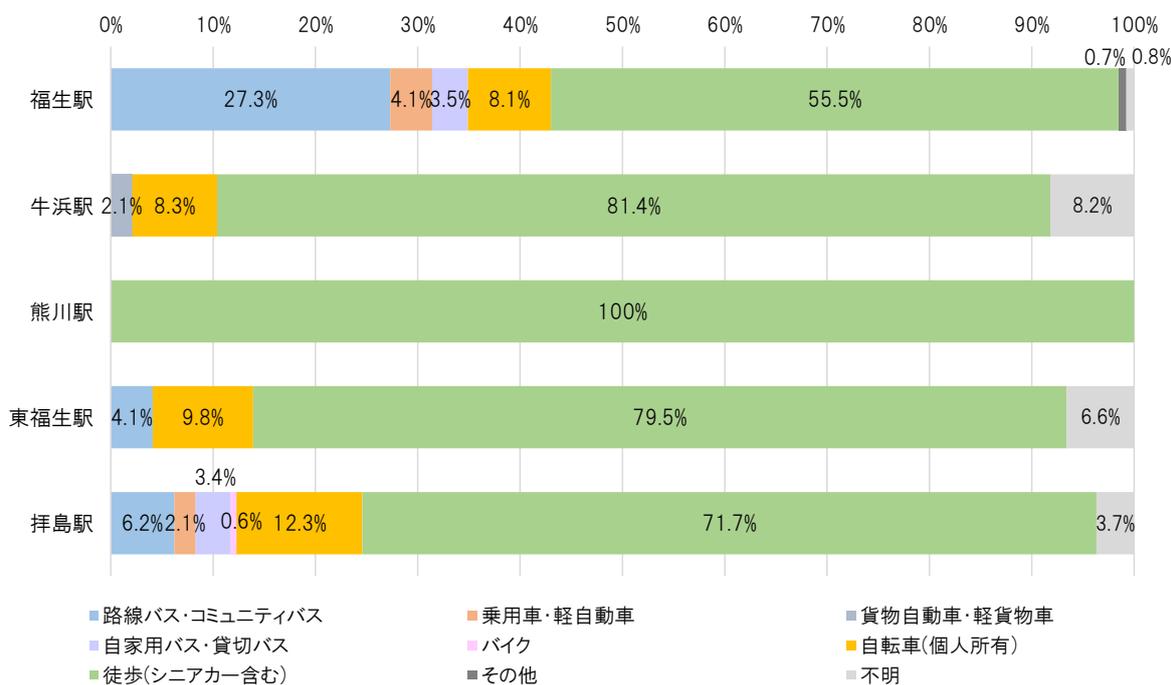
図 25 バス網及び停留所の立地状況



ウ 市内の交通手段の状況

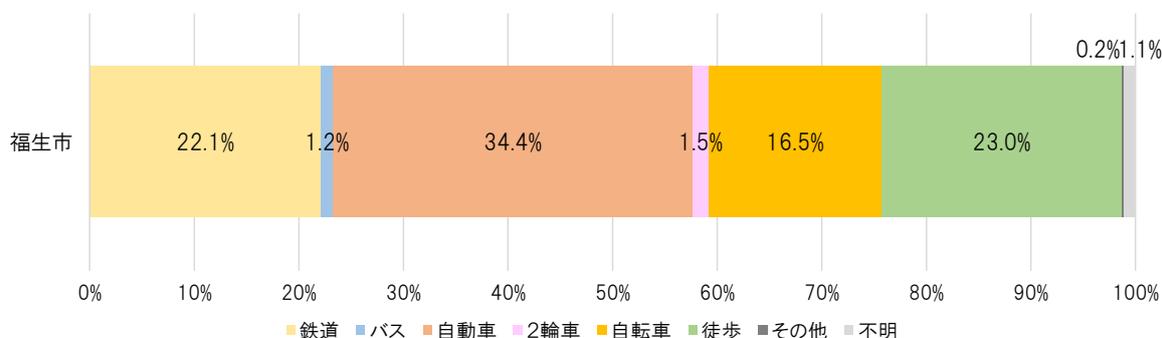
【徒歩や自転車の割合が多くを占める市内移動】

- ◆市内各駅に発着する交通手段の割合を確認すると、牛浜駅、熊川駅、東福生駅及び拝島駅では大半が徒歩での利用となっています。
- ◆一方、福生駅では、徒歩での利用割合が半数を占めていますが、次いで路線バスでの利用割合(27.3%)も高くなっており、広域からの利用が伺えます。
- ◆また、市内の移動は、自動車での移動割合(34.4%)が一番高くなっていますが、徒歩と自転車の合計が約4割を占めており、コンパクトな市街地で移動しやすい環境が整っていることが伺えます。



出典：東京都市圏パーソントリップ調査(H30年)

図26 各駅端末交通手段の割合



出典：東京都市圏パーソントリップ調査(H30年)

図27 市内の交通手段の割合

